

付託議案

委員長
副委員長

男爵高木 喜寬君
子爵京極 高銳君

公爵三條	公爵島津
實春君	忠承君

侯爵黑田長禮君

子爵北小路三郎君

子爵安藤	子爵寶吉
信昭君	純郎君

子爵柳原 政春君

佐々木惣一君

男爵奧田 剛朗君
男爵團 伊能君

男爵北大路信明君
男爵小原兼太郎君

原 泰一君

長谷川萬次郎君
野田六左衛門君

板谷 順助君
木内 四郎君

江口 文雄君

岩淵辰雄君

中山 壽彦君

二十日(火曜)午

是ヨリ開
政府當局ノ御説明ヲ

成君）只今議題上

護法案ニ付テ説明申

上ゲマス、本法ヲ提案致シマシタ理由
ニ付キマシテハ、既ニ本會議デ申述ベ
タ通りデアリマスガ、現今ノ社會情勢
下ニ於キマスル多數ノ、而モ今後尙儉
想サレル生活困難者ノ最低生活ヲ國ガ
責任ヲ以テ保障スル爲ニハ、現行ノ保
護諸法令ノ如ク對象ヲ限定的ニ規定シ
テアルモノヲ以テシテハ、十分ニ其ノ
目的ヲ達スルヤトモ出來ナイノデ、新
タニ本法ヲ制定シテ、保護ノ徹底ヲ圖
ラウトスルモノデアリマス、以下本案
ノ内容ニ付テ説明致シマス、第一ニ申
上ゲマスノハ、本法ノ目的ハ第一條ニ
規定シテアリマスルヤウニ、事由ノ如
何ヲ問ハズ、現ニ生活ノ保護ヲ要スル
狀態ニアル者ノ生活ヲ、國ガ差別的又
ハ優先的ナ取扱ヲナスコトガナク、平
等ニ保護致シマシテ、社會ノ福祉ヲ增
進スルコトニアルノデアリマス、但シ本
法ノ保護ニ依存シテ、徒食スル者ガ生
ズルコトヲ防止スル爲ニ、第二條ニ於
テ、怠ケタ者ヤ業行不良ナ者ニハ保護
ヲナサナイコトニ致シテ居リマス、次
ニ申上ゲマスルノハ、保護ヲ行フ機關
ノコトデアリマスルガ、保護ヲ行フ機
關ニハ、保護手續ノ便宜ヲ考慮致シマ
シテ、第四條ノ規定ニ依リ、原則トシ
テ保護ヲ受ケル者ノ居住地ノ市町村長
方當ルコトニ致シテ居リマス、民生委
員令ニ依リ民生委員ガ之ヲ補助スルト
云フ建前ニナツテ居リマス、次ニ第三
ニ申上ゲマスルコトハ、本法ニ依ル保
護ヲ全カラシメル爲ニハ、公共團體、
公益法人、私人等ノ施設ヲ活用スル必
要ガアリマスノデ、第六條以下ニ保護

施設ニ關スル規定ヲ設ケマシテ、指導監督ヲ加ヘ、義務ヲ課スルト共ニ、補助一免稅等ノ特典ヲ與ヘルコトニシテ居ラス、次ニ第四ニ申上ゲマスノハ、保護ノ種類デアリマスガ、保護ノ種類ノ第十一條ニ規定シテアリマスルヤシニ、生活扶助、醫療、助産、生業扶助及ビ葬祭扶助ノ五種類デアリマシテ、其ノ程度及ビ方法ノ詳細ハ勅令デ定メルコトニ致シテ居リマス、保護ノ居宅ニ於テ行フノガ建前デアリマスルガ、第十二條ニ依リ收容保護モ行フコトガ出來ルノデアリマス、又第十四條ノ收容サレタ者ノ作業ニ關スル規定、第十六條ノ市町村長ノ指示ニ關スル規定等ハ、第二條ノ規定ト相俟ツテ、徒然ニ本法ニ依リ保護ノミニ依存スルコトニ決定シテ居リマスガ、國庫及ビ都道府縣ガ之ニ對シテ補助ヲナシマシテ、結局國庫ガ十分ノ八、都道府縣及ビ市町村ガソレハ十分ノ一ツ、ヲ負擔シテ居リマス、又保護施設ノ設備費ハ國庫ガ二分ノ一、都道府縣及ビ設置者ガソレハ四分ノ一ツ、ヲ負擔スルコトニナツテ居リマス、最後ニ本法ノ制定ト共ニ現行ノ救護法、軍事扶助法、母子保護法、醫療保護法及ビ戰時災害ノ保護法ハ其ノ必要ガ無クナリマスノデ、之ヲ廢止スルコトニ致シテ居リマス、大體本法ハ完全ナル社會保障ト云

フコトヲ行フ先ヅ第一前提トシマシテ
目下ノ社會事情ニモ應ジマシテ、生活
保護ヲ先ヅ第一ニ行フテ行クト云フ點
ニ特別ナ特徴ヲ持ツテ居ル法律デアリ
マス、何卒御審議ノ上速カニ協賛ヲ與
ヘラレムコトヲ希望致ス次第デアリ
マス

○板谷順助君 資料ノ要求ヲ致シマ
ス、衆議院ニ於ケル委員會ニ御提出ニ
ナリマシタル參考資料全部ヲ此ノ委員
會ニ御提出アラムコトヲ要求致シマ
ス、ソレカラマダ衆議院ノ本委員會ニ
於ケル速記録ガ配付ニナツテ居リマセ
ヌデアリマスカ、大臣カラ此ノ本誌
案ニ於ケル組織其ノ内容、或ハ或程度
迄全貌ヲ明カニシテ戴イタ方が審議上
便宜ト考ヘルノデアリマスガ、如何デ
ゴザイマセウカ

○委員長(男爵高木亨寬君) 其ノ衆議
院ノ方ノ資料ハ全部提出ニナツテ居ル
サウデゴザイマスカラ……

○板谷順助君 サウデスカ、マダ配付
ニナリマセヌ

○國務大臣(河合良成君) 本法案ノ大
體ノ此ノ全貌ニ付キマシテ、社會局長
カラ一ツ御説明致シマスカラ、御了承
ヲ願ヒマス

○政府委員(葛西嘉安君) 命ニ依リマ
シテ法案ノ極ク大體把ノコトヲ申上ゲ
タイト思ヒマス、先程モ御話ガゴザイ
マシタヤウニ、此ノ救護關係ノ法令ト
致シマシテハ救護法、母子保護法ト醫
療保護法ト云フ一ツツ體形ガゴザイマ
スシ、ソレカラモウ一ツハ戰時災害保
護法、ソレカラモウ一ツハ軍事扶助法

ト云フ五ツノ法律ガアルノデゴザイマス、此ノ救護法、母子保護法、或ハ醫療保護法等ニ於キマシテハ、對象ハ限定ヲサレテ居ル譯デアリマス、救護法ニ於キマシテハ、六十五歳以上ノ老人デアリマス、或ハ十三歳以下ノ兒童供デアリマス、或ハ不具癡疾ノ者デアリマス、ト云フ風ニ、サウ云フ限定ヲサレタモノデ生活困難ナ者ヲ救護スルト云フ風ヲ建前ニ相成ツテ居リマス、母子保護法ニ於キマシテモ、子ヲ有スル母ヲ救護スルモノデ、ソレデ生活ノ出來ナイ者ヲ保護シテ參ルト云フヤウナ建前ニ相成ツテ居ルデゴザイマス、ソレカラ戰時災害ノ方ハ、戰災ヲ救ツタコトニ依ツテ、ソレヲ原因トシマスモノニ付キマシテ、應急ノ保護、或ハ給與金等ノ保護、或ハ生活ノ保護ト云フヤウナ風ノ、戰災ノ救護者ト云フ限定ガゴザイマス、ソレカ兵役ニ掛リマシタ爲ニ生活……一家ノ支柱ガ兵役ニ參リマス、應急サレタリ、或ハ現役ニ參ツタリシマス、ソレデアトノ者ガ生活出來ナクナツタ、或ハ又傷痍軍人等デ生活力ガ無クナツト云フ風ナ者、或ハ又傷痍軍人、或ハ現役デ戰死シタ人ノ遺族ト云フヤウナ者、サウ云フ風ニ對象ガ皆限定サレ居ルノデゴザイマス、從ツテ今問題ナツテ居リマス、引揚者デアリマスカ、或ハ引揚者ノ留守宅ノ家族デアラストカ、或ハ又單ナル失業者デ衣ヲ與ヘルコトガ出來ナイト云フヤウモノニ付テハ今迄ノ救護法令ニ依リ

草案ノ第二十三條ト思ヒマスガ、結局最低生活ノ保障ト云フコトノ爲ニ法律ヲ立案サレナケレバナラヌト云フ風ナリ規定ニナツテ居リマシテ、今度多分衆議院ノ小委員會デ多少ノレガ變更サレルカモ知レマセヌガ、勿論趣旨ハチツトモ變ハラナイノデアリマシテ、其ノ點ニ基キマシテ、ドウシテモ國民ノ最低生活ヲ保障シテ行カナケレバナラヌト云フコトガ、國家ガ責任ヲ持ツテ行クト云フコトガ、法ノ基礎ニナツテ居リマス、併シ其ノ最低生活ノ保障ト申シマスガ、モウ少シ廣ク言ヘバ、社會保障ト申シマスガ、ソレガ此ノ法律ダケデヤレル性質ノコトデアリマセヌ、社會保險ノ制度モ入リマセウシ、ソレカラ失業對策ノ如キ問題モ入リマセウシ、色々面カラヤツテ行カナクチヤナラヌガ、是ハ兎モ角モ、言葉ハ惡イガ、一ツノ線カラ落チタヤウナモノヲ拾ヒ上ゲテ行クト云フ一ツノ考ヘ方ガ根本ニナツテ居リマス、ソレデ皆ヲ保護シテ行クト云フ建前ガ、縱ノ保護デナク、横ノ保護ト、言葉ハ少シク抽象的デアリマスケレドモ、ト申シマスノハ例ヘバ今迄ノ日本ノヤリ方デハ、戰災者ハ戰災者デ保護シテ來マシタ、軍人ノ遺族ハ軍人ノ遺族、ソレカラ一般ノ貧困者ハ貧困者、母子ハ母子ト云フ風ニ斯ウ縦ニヤツテ、ソコデ戰爭遂行ト云フコトト關聯シマシテ、其ノ間ニ自カラ厚薄ガ出來テ來テ居ル、ソレデ其ノ點ニ付キマシテ、聯合國側カラ「デイス・クレヂット」ヲ生ジマシテ、サウ云フヤリ方ハ面白クナイ、原因ノ如何ハ問ハズ、或程度以下ノ生活者ト云フモノハモウ事ダテ救ハナケレバイカヌノダカラ、結局横ニ線ヲ引イテ、ソレカラドウシテモ叶ハヌト云フ

モノハ、全部優先的ト云フコトハ言ハナイデ平等ニヤツテ行クソレガ今ノ民主的ナヤリ方ダト云フ考ヘニナツテ居リマス、ソレヲ基調ニシテ今度ノ法案ダ出來テ居リマス、ソコデソレデヤ其ノ横ニ線ヲ引イテ、其ノ横ノ線カラ以下ニドウ云フ人ガナルカト云フ問題ニナリマスルト、是ハ非常ニ區々デアリマス、一番多カラウト思ヒマスルノハ、引揚者デアリマス、是ハ八十萬家族、モウ殆ド御承知ノ通り「リニユクサツク」一ツデ子供ノ手ヲ引イテ歸ツテ來ル、國ヲ離レテ長イ間經ツテ居レバ緣故モ少イシ、ナカ／＼旺盛ナ氣力ヲ持ツテ居リマスケレドモ、ドウシテモ生活ニ困ルト云フ者モ非常ニ妙クナイノデアリマス、ソレカラ戰災者デアリマス、戰災者ハ大分日ガ經テマシタノト、大分緣故關係ガアルノデ引揚者カラ見マスルト、大分安定シテ居リマス、ソレカラ戰爭ニ依ツテ戰没シタ人ノ遺族、或ハ傷病軍人、或ハ廢疾者ト云フ御方ハ、モウ是ハ申ス迄ナク非常ニ御氣ノ毒ナ狀態デアル、ソレカラ海外引揚マダセヌ人ノ、所謂在外者ノコチラニ居ル留守家族、是非非常ニ困ツタモノデ、ソレカラ今迄ノ所謂貧困者、是ハ富ノ分配モ御承知ノ通り色色變化ガアリマシタ、前ヨリハ餘程變ツテ來マシタ、サウ云フ色々原因ガ相當澤山アリマス、ソレヲ横ノ線ヲ引イテ考ヘテ見ル、ソコヘ失業者ト云フモノガ今度ハ加ハツテ來ル譯デアリマス、失業者ノコトニ付キマシテハ、是ハモウ失業對策トシテ色々考ヘツ、アルノデアリマスガ、是ハ四月ノ二十六日ノ人口調査ノ時ニ出マシタ數字カラ見マス「十三歳以上六十一歳迄ノ人デ、就業シテ居ナイ者ト、一週間以內

シカ就業シテ居ナイ者ハ男女共アリマスルガ、二百五十五萬人ト云フモノガアルノデアリマス、其ノ外ニ一週間カラ二十日迄就業シテ居ルト云フ者、是ハ失業者ニモナルシ、ナラヌ者モアルシ、潜在失業者ト申シマスガ、ソレモ多數アルノデアリマス、現ニ就業シテ居ナイ者及ビ一週間以內シカ就業シテ居ナイ者ハ二百五十五萬、其ノ後色々海外引揚者、復員軍人ガ非常ニ多シマスノデ、是ハズツト積算致シマシテ、引揚者全體ヲ考ヘマスルト百五十萬位ノ者ハ矢張り失業ニ準ズル失業デアラウト思ツテ居リマス、ソレカラ今度ノ軍需補償ノ打切ナド約五十萬バカリノ數字ガ出テ居リマス、是ハ各業別ニ推定シタ數字デアリマスガ、ソレカラ補償撤廢ナド矢張り十五萬、其ノ外デ二十萬ト申シマスノハ、軍需補償ノ打切ノ直接ノ會社、軍需補償金ヲ貰フ會社ヲ對象ニシタノデスガ、ソレカラ間接ノ影響ガアルト思ヒマスノデ、全體ニ補償打切ニ伴ツテ約百萬位ヲ想像シナクチヤナラナイ、サウシマスルト、此ノ年度ニ於テ約五百萬ト云フモノハ想像シナクチヤナラナイ、其ノ外ニ「ブラス」トシテ潜在失業者ガ相當出來ル見込デアリマス、此ノ中、日本ノ失業者ト云フ狀態ハ「アメリカ」ノ失業者ヤ「ヨーロッパ」ノ失業者ハ多少性格ノ違ツタ點ガアリマシテ、昭和六七年ノ失業ノ狀態ノ如キニ於キマシテハ、自然ト日本ノ家族制度ナドノ影響デ田舎ニ吸收サレタト云フ狀態モ餘程顯著ナモノモアリマシタ、今日ト非常ニ事情ハ變ツテ居リマスケレドモ、ドウモ外國ノ失業者トハ多少性格ハ變ツテ居ルト云フヤウナ事情モアリマシテ、此ノ失業者ガ本當ニ街頭ニ現ハレ

テ來ナクチヤナラヌト云フヤウナ狀態ニナルニハドウ云フ風ニナルカト云フコトハ非常ニ豫測ノ困難ナ問題デアリマス、例ヘテ申シマス、二百五十五萬ト云フ失業者ガ四月ノ二十六日ノ數字ニハ出テ居リマスケレドモ、是ハドウ云フ風ニドウ存在シテ居ルカト云フコトハ、ナカ／＼捕提出來ナイ問題デアリマスケレドモ、何レニ致シマシテモ、其ノ中デ生活ノ困難ヲ來ス者モ相當アラウト云フ推定ニナリマス、ソレハ退職金ヲ貰フ人モアレバ、貯蓄ヲ持ツテ居ル人モアリマスカラ、ザウ云フコトハサウ云フコトデアツテ行ケル、ソレモヤツテ行ケヌト云フ人ガ此ノ方法ニナル譯デアリマス、其ノ失業ノ者ガ必ズヤ今申上ゲマシタ戰災者トカ、引揚者トカト云フ者ノ外ニ入ツテ來ル、勿論引揚者ナドモ其ノ失業者ノ一人ニ數ヘテ居リマスケレドモ、是ハ矢張り失業問題ト生活保護問題ハ一ツノ線ニナツテ居ルト思ヒマス、此處ラデボケテシマツテ一ツノ線ニナルト云フ風ニナルト思ツテ居リマス、ソレカラモウ一ツ申上ゲマスコトハ、失業者ノ性格ト申シマスガ、特徴ト申シマスガ、今迄非常ニ熾熱シタトカ、中毒現象ヲ起シタトカ云フコトデ、物ガ過剰生産ヲ失業者ガ出來タ、丁度千九百三十年カラ三十四年ニ掛ケテノ當時ノヤウナ風ニ、物ガ出來過ギテ失業者ガ出來タト云フノガ今迄ノ通則デアリマスガ、今度ノハ別デアリマシテ、戰爭ノ終了ト云フコトノ爲ニ個々の出來テ居ル、補償ノ打切トカ、海外ノ引揚トカト云フヤウナ個々の問題カラ出テ來テ居リマシテ、一方生産ガ非常ニ少イノデ、ドウシテモ此ノ失業ノ對策トシテハ生産本位ト云フ一ツノ太イ線

ニ沿ツテヤツテ行カナケレバナラヌ、旁々積極的ニ失業者ヲ救フト同時ニ生産擴充ヲシテ行ク、一石二鳥ノ狙ヒヤツテ行カナケレバナラヌ、併シ是ハ徹底的ニハ行キマセ、連モ失業者ガ溢レテ來レバ矢張り戰災地ノ跡付ケトカ、直接生産ニナラヌコトモヤツテ行カナケレバナラヌモノガ多イト思ヒマスルガ、出來ルダケ生産部面ニ沿ツテヤツテ行カナケレバナラヌト云フ一ツノ特徴ヲ持ツテ居リマス、又ソレガ國家ニ大切ナコトト思ヒマスノデ、在張リ生産保護ノ面モ唯金ヲ與ヘルダケデナク、出來ルダケ仕事ヲ與ヘタイト云フ意味ヲ以テ行カナケレバナラナト云フコトデ、段々普通ノ失業對策ト生活保護ト云フモノトハ、性格ガ餘程似タ所ガ出來テ來ルト云フ風ニ全體ヲ解釋シテ居リマス、ソコデ廣イ意味、失業對策トシマシタハ三ツノ階階ニヘテ居ル、第一ハ軍需補償打切ニ伴フテ、或ハ退職慰勞金トカ解雇手当、或ハ俸給ノ支拂トカ生活保護ニシテ金施設トカト云フ軍需補償打切、直接ノ處理ガ第一段、第二段ニハ公共事業、六十億ノ中心ニシマシタ公共事業、或ハ職業輔導、或ハ共同作業所、云フヤウナ失業對策「プロパー」ノモノヲ第二段ニ考ヘル、第三段ニハ矢張り補充的ニ生活保護ト云フモノデ失業ヲ救ツテ行クト云フ風ニ、失業對策體形ヲ只今頭ニ描イテ居リ、政府ノ策トシテ一部ハ實行シツ、アリマス、將來モ實行スル積リデ著々進メテ居マス、サウ云フ意味ニ於テ此ノ問題トヲ御了承頭ヒタイノデアリマス、レカラ尙此ノ問題ニ關係シマシテ、程社會局長ノ説明ノ外ニ、私カラ一

二申上ゲタイ點ガアリマスルガ、ソレハ此ノ第三章ノ保護施設ト云フ問題デアリマス、是ハ政府デモ市町村ヲ通シテ作ラシテ行キマスケレドモ、在來ノ民間ノ社會事業ノ施設モ出來ルダケ利用シテ行ク積リデ居リマス、此ノ民間ノ社會事業及ビ政府ノヤツテ居リマスル社會事業ト云フモノニ對シテ、此ノ生活保護法以外ノ面ニ於キマシテ、例ヘバ一般ノ民間社會事業、或ハ不良見トカ浮浪者トカ孤兒トカ癡疾者ナドノ施設トカ、斯ウ云フ面ニ對シマシテ、ドウモ今迄ノヤリ方ハ少シ細カ過ギルト云フコトヲ私共實ニ感ジテ居ル次第デアリマシテ、矢張り此ノ生活保護法ノ趣旨ニ副ヒマシテ、此ノ線ニ沿ツテ民間社會事業及ビ政府ノヤツテ居リマスル社會事業デ、此ノ保護ニ入ラナイ不良見トカ浮浪者トカ孤兒トカ癡疾者トカ、ソレカラ賣笑婦ノ如キ處迄、徹底的ニ此ノ施設ヲ太イ線デヤツテ行キタイト云フ考ヲ持ツテ居ルコトヲ此ノ際申上ゲテ置キマス、ソレカラ其ノ次ノ第四章ノ保護ノ種類ト云フコトニ付キマシテ、是モ此ノ機會ニ説明申上ゲテ置キマスルガ、第一ハ生活扶助、是ガ一番此ノ法律ノ本體ヲナシテ居ルモノデアリマスルガ、是ハ五人家族、三人家族ト言ヒマシテモ働ク人ヲ中心ニ考ヘル家族デナク、先ヅ三十一歳ノ寡婦ガ六十歳ノ親ノ一人持チ、子供ガ六歳、三歳、一歳ノ三人ノ子供ヲ持ツテ居ル、斯ウ云フ家族ヲ想定致シマシテ、サウシテ家族ノ食フ食物ノ「カロリー」多少ノ家賃トカ或ハ光熱費トカ多少加味シマシタ其ノ最低ノ「カロリー」ヲ考ヘマシテ、其ノ「カロリー」ガ決定價格、配給デ得ラレルト云フコトノ大體ノ前提ノ下ニ、先ヅ東京ノヤ

ウナ大都市デハ一家族三百圓ト云フコトガ其ノ算定ノ基礎ニナリマス、ソレデ家族ノ數ニモ依リマスガ、今ノ前提ノ下ニ於テ三百圓、地方デハソレヲ少シ低クスルト云フヤウナ大體ノ基準ヲ以テ民生委員デ色々協議サセマシテ、サウシテドウモ連モ敵ハヌト云フ家族ニ扶助ヲ與ヘテ行クト云フ建前ニ生活扶助ハナツテ居ルノデアリマス、併シ此ノ金ハ相當彈力ヲ持ツテ居リマシテ、物價ガ高クナリマス場合ハ、事情ニ依ツテハモウ少シ増セルト云フ餘地決ツタ譯デハアリマセヌ、大體ノ基準ハソコニアルト云フ風ニ致シテ居リマデ、ソレデ豫算モ三十億ノ豫算ヲ以テヤツテ、今日迄大分日ガ經チマシタノデ、生活保護法デハナイノデスケレドモ、生活困窮者援護要綱ト云フモノヲ只今實施シテ居リマシテ、其ノ方ニモ大分金ハ使ツテ居リマスケレドモ、ソレヲモウ少シ強化シテ行クト云フ建前ニ實ハ今ナツテ居ル譯デアリマス、強化シテ其ノ範圍ヲ廣クシテ行クト云フ譯デアリマス、ソレデ三十億ノ豫算モ補充費ト云フコトニナツテ居リマシテ、法律實施ノ爲ニ足ラナケレバ豫備費トカ追加豫算デ又請求シ得ルト云フ建前ノ豫算ニナツテ居リマス、ソレデヤツテ行クコトニナツテ居リマス、ソレカラ其ノ次ノ醫療ト申シマスノハ、是ハ只今國民健康保險ト云フモノガ、御承知ノ通り一萬四百百カリノ組合ガ全國ニ出來テ居リマシテ、都市ハマダ遅レテ出來テ居リマセヌガ、地方ニハ一切出來テ、被保險者ガ三千萬人居リマス狀況デアリマス、此ノ保險ガ、只今チヨット物ガ騰ツテ、殊ニ御醫者サンノ診斷費ガ騰ツタ爲ニ、運用ガ完

全ニ行キマセヌノデ、只今追加豫算ヲ大藏省ヘ請求シテ居ル次第デアリマスルガ、矢張り國民健康保險ト云フモノノ療養ガ、此ノ生活保護法ノ醫療ノ問題ノ前提ト申シマスカ、モット前線ニナツテ居ル譯デアリマス、ソレデウマク行カヌノコトヲ「醫療」デ補ツテ行クト云フ大體ノ見當ニナツテ居リマス、ソレカラ第四ノ生業扶助ト云フ問題デアリマスガ、是ハ生活保護ハ受ケスデモ、生業ヲヤツテ身ヲ立テテ行カウト云フ所ニハ矢張り扶助金ヲ出サウト云フコトデ、四百圓バカリノ豫定デ居リマシタガ、衆議院アタリデハ是ハ千圓位ニ殖ヤシテハト云フ議論ニナツテ居リマス、併シ是ハ何モ四百圓ト限三十億ノ豫算ノ中ノ、大體三億バカリノ金ヲ府縣ヘ渡シマシテ、府縣ガ庶民金融庫ヲ中心ニシマシテ、之ヲ頭金ニスルト云フ譯デスカラ、サウシマスルト、マア損ヲシテモ宜イ金ニシマスルト、約十億ノ金ニナリマス、十億ノ金ヲ貸付ケルコトガ出來ルト云フ譯デ、十億ノ金ヲ三千圓ヲ一口トシマシテ、生活扶助トシテ困ツタ人ニ貸付ケヨウデヤナイカト云フコトデ進行シテ居リマス、ソレハドウ云フコトカト申シマス、一番主ナハ海外引揚者デアリマス、海外引揚者百八十萬家族アリマスルカラ、之ニ三千圓ヅ、貸付ケルコトガ出來レバ、三千圓デスカラ三十三萬家族ハソレデマア貸付ケラレル譯、併シナガラ此ノ保護ノ建前ハ海外引揚者ト云フ縦ノ線デヤイカスノデアリマス、横ノ線ニシテモ、引揚者モ亦被災者モ同一ニ扱ヒマシテ、庶民金融庫カラ三千圓貸付ケル方針デ進メテ居リマス、併シナガラ恐ラク一番

多イノハ海外引揚者デアラウトハ思ヒマス、ケレドモ、海外引揚者ニ決シテ限定シテ居ル譯デハアリマセヌ、數ガ海外引揚者ガ多イ、サウシテ企業力ガ最も多イデスカラ、之ヘ生業扶助ヲヤツテ行カウト云フコトデヤツテ居リマスルカラ、此ノ面ガ今ノ失業救済ト同様に矢張り増産面ニ進ムハ餘程是ガ積極的ニ活用出來ルト云フ心組デ居リマス、大體申上ゲマス、サウ云フヤウナ考ヲ以テマシテ結局社會保障ト申シマス、今度ノ憲法ノ狙ヒトシテ一番重大ナ一ツノ點ヲ先ヅ此ノ法案デヤツテ行ク、其ノ後ハ矢張り社會保險制度ヲ完備シ、失業完全補償ノ目標ニ向ツテ進ム、自然サウ云フ風ニナリマスルト、此ノ法律ト外ノ法律トノ關係デモツツ綜合的ノモノニナリマスルカ、モツツ進化スルトハ思ヒマスルガ、只今ハ斯ウ云フ終戰後ノゴタノノ状態デモアリマスルノデ、一面ニ於テハ取敢ヘズト云フ問題、一面ニ於テハ生活保護ト云フ大キナ社會政策ノ面ヘ大キナ意味ヲ以テ此ノ法律ヲ實施スルト云フ考デゴサイマス

○板谷順助君 只今ノ御話デハマダ私了解シ兼ねマスルガ、御話ノ通り、職災者デアルトカ、或ハ海外引揚者、又母子其ノ他他種ノ達者ナ者ニハ金ヲ貸シ適當ナ仕事ヲ與ヘテヤル、又病人デ今日非常ニ困ル者ハ助けテヤル、是ハ當然デアリマス、當然デアリマスルガ、今御話ノ中ニ失業者デアツテ一週間働クコトカ或ハ十日ヨリ働カヌト云フノハドウ云フ意味デ仰シヤツテ居ルカ分ラヌケレドモ、要スルニ廣ク失業者ヲ救済スルト云フコトガ此ノ法案ニ含ンデ居ルトスレバ、現在ノ世相ハ御承知ノ通り榮ヲシテ金ヲ多ク取ラウ、是ハ人情ノ然ラシムル所デアリマセウガ、アナタガ地方ノ民生委員ニ御指示ヲナサル上ニ於テ、失業者ト云フモノハドウ云フモノデアアル、此ノ解釋デハソレヲドウ云フ程度ニ於テ御指示ナサル御積リデアアルカ、ソレヲ承リタイ

○國務大臣(河合長成君) 只今失業者ト考ヘマスルノハ、働ク意思ハ持ツテ居ルガ職業ガナイ、假ニ職業ガアリマシテモ一月ニ一週間位シカ働ケナイ者ト云フ考ヲ失業者トシテ居リマス、ソレデ失業救済ノ目標ハ是デヤツテ行クノデアリマセヌ、六十億ノノ公共事業費ト云フモノヲ見込ミマシテ、其ノ公共事業費ノ内容ハ、開墾トカ、土木トカ、治水トカ、道路トカ、港灣トカ、學校建築モ多少入リマス、裁判所ノ建築モ多少入リマス、サウ云フモノガ主デス、ソレカラ都市ノ失業救済ノ目標トシマシテ、都市ノ失業救済ヲ皆「ブール」シマシテ、職災地ヲ片付ケタリ、或ハ道路ヲ直シタリト云フ臨時的ノ機動的ノ公共事業、ソレカラモウ一ツ大キイノハ職災地ノ都市計畫、跡片付ケ、清掃ト云フ大キナ問題、ソレカラ其ノ外ニ尙共同作業所ノヤウナモノヲ所々設ケタリ、授産所ヲ設ケタリ、或ハ職業輔導、大工トカ鍛冶屋ノ職業輔導、知識階級ノ人モ特別ノ扶助ヲ與ヘテ團體會社ニ入レタリト云フヤウナコトヲヤツテ行キマシテ、兎ニ角遊ンデ居ル人ニ職ヲ與ヘル、働ク意思ノアル者ハモウドシノ働カシテ行クト云フコトデヤツテ行キマスガ、失業對策面ハソレデ行クノデアリマス、處ガドウシテモ働カウト思ツテモ仕事ガナイト云フ場合モ起キルノデアリマス、サ

ウシテ自分デハ生活が出来ヌト云フ場
面モ起キマスルカラ、サウ云フ生活保
護デ行カヌトヤツテ行ケヌト云フノハ
矢張り仕事ノアル迄ハ生活保護ニ入り
込シテ来ルト云フ氣持ヲ持ツテ居リマ
ス、ソレガ失業者ト是トノ關係デアリ
マスガ、此ノ法律ノ本來ノ狙ヒハ、働
カウト思フモノ働ケヌト云フ者ガ主ナ
點ナラデアリマス、例ヘバ寡婦デ子供
ヲ連レテ居ルトカ、或ハ病氣デカウ
體ガ弱イトカ、色々ナ條件デ働カウト
思フモノ働ケナイト云フノガ主デ、働
ケルンデアリマスケレドモ懶ケルト云
フノハ入ラナイト云フ建前ニナツテ居
リマス、サウ云フ意味デ失業者ノ方ト
相當交錯シテ来ルト云フコトニ考ヘテ
居リマス

○板谷順助君 其ノ點ガドウモハツキ
リシマセムガ、大體ニ於テ失業者ハ生
活保護法案ニハ入ラヌ、サウ承知シテ
宜シウゴザイマスカ
○國務大臣(河合良成君) 失業者ハ失
業救済デ行ツテ、職ニアリ付ケル者ハ
入ラヌ、ソレカラ失業者デアツテモ、
食ツテ行ケル者ハ入ラヌノデアリマ
ス、金ヲ持ツテ居ル人トカ、サウデナ
クテ、失業者デアツテ働ケル人デモ、
ドウシテモ働ク機會ヲ得ルコトガ、出
來ナイ、國家ガ色々世話シテモ出來ナ
イト云フ人ハ、矢張り是ハ幾ラカ入ル
ト思ヒマス
○板谷順助君 餘リ質問ガ長クナツテ
相濟ミマセヌガ、ドウモバツキリ致シ
マセヌカラ、例ヘバ失業者ノ解釋
ハ、自分ガ二百圓買フデケノ力ガア
ル、ソレガ丁度百圓ノ口ヨリナイ、或
ハ又中等學校卒業程度ナラバ幾ラモ需
要ガアルケレドモ、專門學校、大學ト
云フヤウナコトニナルト口ガナイ、サ

ウ云フ者ガ、中等學校卒業程度ノ給料
デヤ働ダト云フコトニナレバ、從ツテ
是ハ失業者ニナル譯デス、又或ハ技術
家ニ事務ヲヤレト言ツテモ出來ヤシナ
イ、又事務家ニ技術ヲヤレト言ツテモ
出來ヤシナイ、ソレガ口ガナイ間ハ遊
ンデ居ルト云フ者ハ失業者ト見テ、之
ヲ地方民生委員ニ査定ヲシロト言ツテ
モ出來ヤシマセヌ、從ツテ實際人デ
アルトカ、或ハ子供デアルトカ、食フ
ニ困ル、此ノ者ヲ救済スルト云フノガ
本旨デアルナラバ、其ノ邊ヲハツキリ
シテ御覽キニナラヌト、ドウモ失業
者デ體ガ丈夫デアルガ、併シ仕事ガナ
クテブラ／＼シテ居ル、或ハ又自分ノ思
フヤウナ仕事ガナイカラ遊ンデ居ルト
云フヤウナ者ガ出來ル、ダカラシテ、
之ヲ適當ニ限界ヲ付ケテオカリニナリ
マセヌト、國家ガ赤字ニ赤字ヲ重ネテ
居ル此ノ狀態ニ於テ、ソレハ三十億ア
ツテモ、五十億アツテモ足りハシナ
イ、此ノ邊ガ失禮ナガラ、アナタノ今
ノ限界ガハツキリシナイト思フノデア
リマスガ、如何デスカ
○國務大臣(河合良成君) 私ノ説明ノ
仕方ガ甚ダマツイノデスカ、ハツキリ
致シテ居ルノデアリマス、ソレハ第
一、貯蓄トカ何カ持ツテ居ル人ハ、勿
論是ハ失業者デナイ、是ハモウ此處ニ
ハ入ラヌノデアリマス、ソレカラマア
ブラ／＼ヤツテ居ルト云フ人デモ、ソ
レハ容ヲ據イダリヲ持ツコトハ、ソ
レハ人間ダカラヤレル、サウ云フコト
ヲヤレルノニ、俺ハ知識階級ダカラト
言ツテケロツトシテ居レバ、ソレハ入
レヌノデアリマス、ダケレドモ、本當
ノ労働者ナド今度ドウシテモ職ガナ
イ、何處カ働カウトシテモ働ク職モナ
クテ、ドウシテモ仕様がナイ、食ツテ

モ行クヌト云フノハ、寡婦や孤兒ノヤ
ウナ人デナクテモ、矢張り是ハ是デ暫
定のニサウ云フノヲ拾ツテ行カヌト、
食ヘナイカラ仕方ガナイ、ソレハ矢張
リ失業者デアリマス、サウダカラ線ハ
引ケルノデアリマス、引ケマスケレド
モ、サウ云フ者ハ、ソレデヤ今日ハ食
ヘナイガ、明日カラ仕事ガアレバドウ
カ、仕事ガアレバ直グ仕事ワスルト云
フ風ニナリマスルカラ、絕對ニ是ハ働
ク能力ノない者バカリカト云フト、サ
ウデナイ、働ク能力ハ持ツテ居ツテモ
「チャンス」ガナイト云フ者、ソレハ自
分デ勝手ニ選ンデ「チャンス」ガナイト
云フノデハナク、客觀的ニ見テ是ハド
ウシテモ「チャンス」ガナイト云フ時ニ
ハ、矢張り此ノヤウニシナケレバいか
ス、ダカラ失業者ト云フモノハ多少此
ノ中ニ混ツテ来ルト云フコトハ認メナ
ケレバナラスト云フ意味ナノデス、尙
説明ガ不完全デアリマシタ申上ゲ
マス
○委員長(男爵高木實寛君) 板谷君ニ
申上ゲマスガ、大臣ハ衆議院ノ委員會
デ待ツテ居ルサウデスカラ、アナタノ
質疑ハ此ノ次ニシテハ如何デスカ
○板谷順助君 承知シマシタ、保留シ
テ置キマス、ソレカラ御願ガアリマ
ス、私バカリ質問シテ相濟ミマセヌケ
レドモ、適當ノ時期ニ大蔵省ノ主税局
長ヲ御呼ビ願ヒタイノデアリマス
○委員長(男爵高木實寛君) 承知シマ
シタ、尙質疑ヲ續行致シマス
○原泰一君 板谷君ノ質問ニ關聯シマ
シテ、適當ナ時ニ大蔵大臣ニオイデラ
願ヒタイト思ヒマス
○委員長(男爵高木實寛君) 尙板谷君
ニ申上ゲマスガ、材料ハ明日ノ會議迄
ニハ間ニ合ハセル筈デス

○佐々木惣一君 大臣ハ他日又此ノ委
員會ニオイデニナリマスデセウカ
○委員長(男爵高木實寛君) ソレハ必
ズオイデニナリマスと思ヒマス
○佐々木惣一君 ソレデハ私ハ今日ハ
質問ハ止メテ、オイデニナツタ時ニ致
シマス
○木内四郎君 先程來板谷委員ノ御質
問ニナツタコトニ關聯シマシテ、政府
委員カラチヨツト伺ツテ置キタイノデ
スガ、色々御質問ニナツテ居ツタヤウ
デスカ、要スルニ私ハ或ハ間違ツテ居
ルカモ知リマセヌガ、板谷委員ガ色々
御質問ニナツタ御趣旨ハ、第一條ノ生
活ノ保護ヲ要スル狀態ニアル者ト云フ
ノハ、一體ノ程度ノドウ云フ人ヲ生
活ノ保護ヲ要スル狀態ニアル者ト認メ
ルカ、或ハ能力ガアルニモ拘ラズ働カ
ナイカ、勤勞ノ意思ノない者トカ、或
ハ勤勞ヲ怠ル者トカ、サウ云フヤウナ
者ハドウ云フヤウナ標準デ誰ガ判定ス
ルノカ、サウ云フ點ヲ事務的ニ伺ヘ
バ、先程カラノ御質問ハ大體氷解スル
ノデヤナイカト思フノデ、政府委員カ
ラ御説明願ヒタイ
○政府委員(葛西實資君) 生活ノ保護
ヲ要スル狀態ニアル者ト申シマスノハ
生活困難者ト申シマスカ、生活困難ナ
者ト申シマスカ、生活ノ出來ナイ者ト
申シマスカ、サウ云フ者デゴザイマス、
從ヒマシテ先程大臣ノ仰シヤイマシタ
生活扶助ノ點ハ、寡婦ガ年寄ト子供三
人ヲ抱ヘテ居ルヤウナ者ナラバ、大體
此ノ豫算編成當時ニ於キマシテハ、東
京都デハ三百圓アレバ最低ノ生活ハ出
來ルノデヤナイカト云フヤウナ見當
立テマシタ、サウ云フコトニ依リマス
ルト、先ツ大體其ノ邊ノ所ガ客觀的ニ
見テ生活困難ナ者ト云フ風ニ抑ヘラレ

ルノデヤナイカ、併シ此ノ法律ニモゴ
ザイマスヤウニ、程度、方法等ハ勅令
デ決メルト云フコトニナツテ居リマス
ガ、是非非常ニ價格ノ變動等ガ多いノ
デゴザイマスカラ、勅令デモ地方長官
ガ大臣ノ認可ヲ得テ其ノ時／＼ニ決メ
ルト云フ決メ方ニシテ參ラウカト思ツ
テ居リマス、現ニ今デモ警察ナシカラ
關係デ、昨日東京都カラ言ツテ參リマ
シタノデスカ、豫算トシテハ一應御葬
式ノ費用ハ百圓ト云フコトニ致シテ居
リマスガ、ドウシテモ百圓デハ御葬式
ハ出來ヌサウデアリマス、ソレデ、是
非二百圓ヤツテ與レト云フコトヲ大臣
ニ認可ヲ求メテ參リマシタ、是ハ一兩
日中ニ認可シテヤルカト思ヒマス、生
活扶助ノ方モサウ云フ風ニ時ニ應ジテ
必要ナ最低限ト云フモノヲ知事ト大臣
ト相談ヲ致シマシテ、此ノ邊線ヲ引
カウト云フコトデ一應線ヲ引イテ居ル
ノデゴザイマス、地方々々ニ依ツテモ
違フ譯デス、土地ニ依ツテモ違ヒマス
カラ、サウシテ決メテ參ラウカト思ヒマ
ス、或線以下ノ收入ノ者ガ生活困難ノ
者ト云フヤウナコトニ相成ルト思ヒマ
ス、ソレカラモウツツ、サウ云フ保護
ヲ要スル、狀態ニ在ル者トノ認定ハ誰
ガスルカト云フ點デゴザイマスガ、是
ハ第一線ノ報告機關デアル市町村長ガ
スルコトニ相成リマス、市町村長ガ致
シマスニハ、民生委員ガ之ヲ補助致シ
マシテ、其ノ家庭ノ實際ノ狀況ヲ見マ
シテ、是ハ收入皆無、或ハ若干ノ收入
ガアルト云フヤウナコトカラ、是レ位
ノ援助ハ必要デアルト云フコトヲ民生
委員ガ市町村長ニ申達ヲ致シマス、サ
ウ云フ風ニ致シマシテ最後ノ決定權ハ
市町村長ガ有シマス、唯市町村長ノ決
定ガ間違ツテ居ルヤウナ場合ニ於キマ

シテハ、監督權ニ依リマシテ、地方長官ナリ何ナリガソレヲ訂正シテ參ルト云フコトハ、或ハ時ニハアリ得ルカト思ヒマス。ケレドモ、決定ハ斯様ニシテ市町村長ガスルト云フコトニ相成ル積リデアリマス。

○委員長(男爵高木喜寬君) 他ニ御質疑ハゴザイマセヌカ。

○板谷順助君 民生安定費ノ豫算ヲ見マスト人件費、物件費デ大シタ金額ガ計上サレテ居リマスガ、是ハ大體都道府縣ナリ或ハ市町村ガ自治的ト云フカ、兎ニ角地方ニヤラセルト云フ、斯ウ云フ組織ニナルノデセツガ、本省ノ方デハ一體此ノ三千萬圓カキノ費用ハ何處デ使フノデスカ、民生安定費トシテ俸給ハ千二百四十二萬五千圓、賞與ガ三百三十五萬二千圓、二十一年度ノ改定歳出豫算ニ出テ居リマスガ。

○政府委員(葛西嘉資君) 大體ハ只今御指摘ノヤウニ地方(補助)致シマシテ、地方デ大部分ノ仕事ヲヤツテ貰フコトニナリマス、全部府縣ニ補助致シマシテ、ソレヲ市町村ニ更ニ補助スル、市町村費、府縣費デ大部分ノ仕事ヲスルト云フコトニ相成リマス、ソレデ前ノ方ノ民生安定施設費ノ中ニナリマス若干ノ費用ハ、ソレヲ指導スルトカ監督スルトカ云フヤウナ本省關係ノ事務費デゴザイマス。

○板谷順助君 地方ニ任セテヤラセルノニ、監督ハ勿論必要デスケレドモ、或程度迄詰リ本省ガ補助金ヲ出スト云フ程度ニシテ、府縣ナリ或ハ市町村ニ責任ヲ持タセルヤウニシテハドウカト思ヒマス、今此處ニ三千萬圓カラノ人件費其ノ他給與ガ計上サレテアリマスルガ、コンナニ金ヲカケテ大仕掛ニヤ

ラナケレバナラス必要ガアリマスカ、昭和二十一年度ノ一般會計改定歳入歳出豫算分類表、之ニアリマス。

○政府委員(葛西嘉資君) 御指摘ノ資料ガ、ドツチカ能ク分ラヌノデゴザイマスガ、本省機構ニ要シマスル經費トシマシテ、人件費トシテ三萬三千圓、ソレカラ施設費ノ方トシテ二十三萬三千餘圓、アト大部分ノモノハ地方費ノ補助ト云フコトニナツテ居ルト了解致シテ居リマスガ。

○板谷順助君 ソレカラ此ノ法案ヲ見マスト云フト、必要限度ノ給與ヲスルト云フコトデアリマスガ、勿論必要限度ノ給與ト云フコトニナレバ、最低生活ニ觸レル譯デスカ、最低生活ノ算定ハ今ノ物價ノ大變動ノ場合ニ於テ「インフレ」防止ガ出來ザル限りハ此ノ見當ハナカ／＼付カスト思フノデス、ソレハアナタノ方デハ今御話ノヤウニ三百萬圓給與スルト云フ御話デスカ、ドンナ國ニ見テオイデニナリマスガ、最低生活ノ保障、所謂必要限度ト云フコトハ最低生活ニナリマスガ、是デ最低生活ノ保障ニナリマスガ。

○政府委員(葛西嘉資君) 只今モ木内委員ノ御質問ニ對シマシテ御答へ申シマシタヤウニ、地方々々最低生活ノ限度ヲ決メルト云フコトニナツテ居リマスガ、東京等ノ場合ニ於キマシテハ、今缺配等ガ非常ニ多カツタリ、閣ノモトヲ入レナケレバナラス云フ風ナコトデハ、三百萬圓今申シマシタ家族デハナカ／＼ムツカシイ實情デゴザイマス、併シ實際物資ノ「ルート」ヲ確保致シマスレバ、一應ソレ位ノ所デ最低生活行ケルノデヤナイカレ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレデ物資等ノ特配、缺配ニナリマシテカラハ、御承知ノヤウニ

陸海軍ガ保有シテ居リマシタモノヲ聯合軍ニ納メマシテ、ソレヲ更ニ放出シテ救済用ニ政府ニ又拂下ゲテ戴イテ居リマスノデ、之ヲ先般來、先月ノ終リ頃カラダト思ヒマスガ、聯合軍ノ承認ヲ得マシテ無償デ貸付者ニハ配給スルト云フヤウナコトモ致シテ居リマシタゴザイマス、ソノヤウナコトデ、今ノ所ハドウニカ此ノ限度デ最低生活ダケハヤツテ居ルノデヤナイカト云フ風ニ見テ居ルノデスカ、併シドン／＼物價ハ變ツテ參リマスノデ、或ハ又物資ノ配給ノ狀態等ガ惡化シテ參リマスレバ、ナカ／＼ソレデケデハ出來ヌノデヤナイカ、或程度金額ヲ上ゲテ行カナケレバイカヌヘテ居リマス、現在各府縣デ生計ノ調査ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、實ハ先月ノ末頃ニ觀メテ貰フヤウナ風ニ致シマシテ、各府縣ソレゾレ色々ナ對象ヲ調べマシテ、厚生大臣ガ地方長官カラ相談ヲ受ケマシタ場合ニ認可ヲスル材料ニト思ヒマシテ、各府縣デ生計費ノ調査ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、是ハマダ總ツテ居リマセヌノデ、具體的ニドウスウト云フコトハナイヤウデアリマスガ、地方廳ニ於キマシテハ、矢張り之ヲ基礎ニ致シマシテ、一應ノ最低生計費ト云フモノヲ作ル豫定デアリマス、今ノ所デハ是位ノモノデ、今申シマシタ主食等ガ非常ニ困ツテ居ルモノデスカ、今ノ放出物資等デ若干間ニ合ハシテ居ルヤウナ狀態デアリマス、從ヒマシテ物價ノ變動デ是デハ足ラヌト云フコトニナリマスレバ、此ノ額ヲ増シテ參ラナケレバナラス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、是ハ三百萬圓ト申シマシテ

モ、一應ノ基準デゴザイマスカラ、實際ニ其ノ家庭々々デ、此ノ家庭デハドウシテモ三百五十圓要ル、或ハ三百六十圓要ルト云フ風ナ場合ニ於キマシテハ、ソレ／＼必要額ダケ支出スルト云フ建前ニ致シテ居リマス、大臣ガ先程三百萬圓ト申シマシタノハ一應ノ基準デゴザイマシテ、線ヲ引クト申シマシテモ、ナカ／＼個々ノ家庭ニ依リマシテ、實際ノ家庭生活ト云フモノハ、乳ヲ出ルオ母サシノ家ト乳ヲ出ナイオ母サシノ家庭トデハ最低生活ガ明カニ違ツテ參リマス、ソノヤウナノヲ觀ミ合セマシテ、個々ノ家庭デソレ／＼最低生活ト云フコトハ違ツテ來ルノデヤナイカ、一應平均ノ最低ト云フコトハ只今申シマシタヤウニ線ヲ引テ居ルノデゴザイマシテ、限度ハ設ケナイト云フ建前ニ致シテ居リマス。

○政府委員(服部岩吉君) チョット此ノ際補足的ニ私カラ申上ゲテ置キマスガ、生活ノ保護を要スル狀態にある者ノ生活、是ハ各困窮者ノ生活狀態ト云フモノガ一樣デナイコトハ御承知ノ通りデアリマス、從ツテ從來ノ建前カラ申シマスト、大體三百萬圓ト云フ程度ニ決メマスト云フト、其ノ三百萬圓ト云フモノガ、若シ其ノ家庭ニ於テ或ハ月百圓ナラ百圓ト云フ收入ノアル場合ニ於キマシテハ、其ノ收入ヲ差引キマシテ、其ノ不足額ノ二百萬圓補助スル其云フヤウナ建前ヲ執ツテ居ッタノデアリマスガ、今日ノヤウナ經濟狀態ニ於キマシテハ、ナカ／＼サウ云フ機械的ナ方法デ行クト云フコトハ困難デアリマスノデ、例ヘバ今日ノ場合、都内ニ於キマシテ三百萬圓ノ生活デ出來ルカト云フコトニナリマス云フト、是ハ極メテ困難ナモノダト思フノデアリマス、

從ツテ若シ其ノ世帯ニ於キマシテ僅カナガラデモ内職デモシテ、或ハ月ニ百五十圓、或ハ二百圓ト云フヤウナ收入ガアリマシテモ、ソレハ一應收入ト見ナイデ三百萬圓ノ補助ヲ給與スル、斯ウ云フコトニナリマス、從ツテ其ノ家庭ハ一箇月五百萬圓ノ生活ニナルト云フヤウナ建前ニナツテ行クノデアリマスカラ、サウ云フヤウナ氣持ヲ以テ本案ヲ運営シテ行クヤウニシタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、是ダケ附加ヘテ置キマス。

○政府委員(葛西嘉資君) チョット政務次官ノ御話ヲ補足シテ申上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、政務次官カラ若干ノ内職等ノ收入ガアリマシテモ之ヲ差引クト云フヤウナコトハシナイト云フ御話、其ノ通デアリマシテ、是ハ勤勞意欲ヲ、働イテモ働カヌデモ宜イト云フヤウナコトニナツテハイケマセヌノデ、若干ノ内職、或ハ授産等ニ依リマス若干ノ收入ガアリマシタ場合ニハ、之ヲ差引クト云フコトハシナイデ公費ノ給與ヲヤツテ行クト云フコトハ、只今政務次官ノ御示シノ通りデアリマス、額カラ申シマスレバ、是ハ何程ニモナラヌ譯デアリマシテ、例ヘバ一世帯ノ中デ五人ナラ五人居リマシテ、娘ガ居リマシテ何處カヘ勤メテ居ツテ若干ノ收入ガアルト云フヤウナコトデ、家庭ノ足シラシテ居ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、方面委員等ノ調査ニ於キマシテハ、其ノ收入ヲ見積リマシテ、サウシテ公費ノ最低限ノ費用カラ之ヲ引クト云フコトハ、是ハ當然爲サナケレバナラス、從ヒマシテ全然收入ノ皆無ノモノニ付キマシテハ、其ノ最低限「リミット」ノ所迄ハ支出シテ行カナケレバナラスト云フコトニナル

フ風ニ致シマシテ、何ト申シマスカ、
非常ニ「ミゼラブル」ナ感じヲ與ヘルコ
トハドウカト考ヘマシテ、斯ウ云フ風
ニ表現致シタノデアリマス
○板谷順助君 此ノ三十億ノ豫算ノ内
容ハ分ツテ居リマスカ

○政府委員(服部岩吉君) 是も明日ノ
配付資料ノ中ニ事業費全體、其ノ中國
ガドレ位持ツカ、地方費ガドレ位持ツ
カ、而モ其ノ市町村ノ負擔ト縣ノ負擔
ト云フモノヲズツト致シマシタモノヲ
明日配付スルコトニ致シテ居リマス

○板倉順助君 明日戴ク資料ノ中ニ現在ノ五ツノ法律デスカ、廢止ニナル五ツノ法律ガアリマスガ、ソレニ依ツテテ保護シテ居ル所ノ人ノ數トカ、ソンナヤウナモノハ載ツテ居リマセウカ

○政府委員(舊西嘉賓君) 若干デゴザ

イマスカ 夢野院テモ、從軍カアリマス
シタノデ、載ツテ居リマス
○木内四郎君 サウ云フ法律トカ、即
チ今度ノ法律、此ノ法律ガ前カラ施行
サレテ居クダナラバ、ソレニ依ツテ保
護サルベカリシ者ト云フヤウナモノ、デ
ス、ナク云フ致、ソノカヘ今ナ

込ノ數モ、越ツテ居リマスカ
○政府委員(葛西嘉資君) 是は一應、
ク大雜把デアリマスガ、衆議院デモ御
説明申上ゲマシタヤウニ八百萬、國民
ノ一割、是ハホンノ見積リデアリマス
カラ、或ハ下ウナルカ分リマセヌガ、

一應ノ大見當ハ付ケマシテ作ツタ資料
ハゴザイマス
○委員長(男爵高木寛寛君) 他ニ御賀
疑ハゴザイマセヌカ
○原泰一君 今木内委員ノ御賀聞ニア
リマシタ救護法、其ノ他ノ法律ヲ保護

サレタ者ノ外ニ、昨年來緊急策ノ費用
ヲ矢張り保護サレタ者ノ人數ガ分ツテ

七

居ッタナラバ御一緒ニ御提出願ッタ方
ガ宜イト思ヒマス

○委員長(子爵高木嘉寛君) 他ニ御質
疑ッザイマセヌカ、若シゴザイマセヌ
ケレバ、今日ハ此ノ程度ニ致シマシ
テ、次回ハ先程カラ申シマシタヤウ
ニ、資料ハ明日ナラバ集マルト思ヒマ
スガ、如何デゴザイマスカ

○江口文雄君 明日資料ヲ戴イテモ、此
處デ即座ニ讀ンデモ分リマセヌカラ、
相成ルベクハ一日カ二日置イタ方ガ宜
クハアリマセヌカ

○委員長(子爵高木嘉寛君) ソレデハ
明後日午前十時ヨリ開會致シマス、本
日ハ是デ散會致シマス

午前十一時五十四分散會

出席者左ノ如シ

委員長 男爵高木 喜寛君
副委員長 子爵京極 高銳君
委員

公爵島津 忠承君
公爵三條 實春君
侯爵黒田 長禮君
伯爵前田 利男君
子爵實吉 純郎君
子爵安藤 信昭君
子爵柳原 政春君
小山 松吉君
佐々木惣一君
男爵團 伊能君
男爵小原謙太郎君
原 泰一君
長谷川萬次郎君
野田六左衛門君
板谷 順助君
木内 四郎君
江口 文雄君
正田貞一郎君
中山 壽彦君

國務大臣

厚生大臣 河合 良成君

政府委員

厚生政務次官 服部 岩吉君

厚生事務官 葛西 嘉資君

同 加藤 清一君